

# ー 1 年次科目・シラバスー

「シラバス」(syllabus(英))とは、各科目の授業の内容をおおまかに示したものです。

ここには、1年次に開講されるすべての科目(共通履修科目も含む)のシラバスが記載されています。よく読んで科目選択の参考にするとともに、1年次の学習内容に対する理解を深めてください。

## < 1 > 1 年次共通履修科目 (1 年次で全員が履修する科目)

### 教科 [ 国 語 ]

講座名	国語総合(現代文)	科目名	国語総合	単位数	2
科目の種類	必修	授業形態	クラス単位の一斉授業		
履修対象者	全員				
1 学期	4 月	随想…文章を読むことに親しむ。			
	5～6 月	小説…文学的な文章を読み、情景や心情を味わう。			
	6～7 月	評論…論理的な文章を読み、思考力と論理的表現力を身に付ける。			
2 学期	9～10 月	韻文…詩・短歌・俳句を鑑賞し、ことばに対する感受性を豊かにする。			
	10～11 月	さまざまな分野の文章…読解力のバックボーンとなる教養を身に付ける。			
	11～12 月	評論…論理的な文章を読み、思考力と論理的表現力を高める。			
3 学期	1～2 月	小説…文学史上重要な作品を読み味わい、文学に親しむ。			
	2～3 月	目的に応じた文章の書き方、場面に応じた適切な話し方の工夫を学ぶ。			
評価方法	定期考査を主とし、平常の活動、小テスト、長期休業中課題を加味して総合的に評価する。 ※通年の評価は古典と合算し、「国語総合」(4単位)として行う。				
使用教科書	「高等学校 改訂版 国語総合」(第一学習社)				
使用教材	「国語便覧」・「高校漢字問題集」・プリント類				
諸経費	長期休業中課題 500円(予定)(積立金より支出)				
備考	長期休業中には課題あり。(ワークブック、読書等)				

講座名	国語総合(古典)	科目名	国語総合	単位数	2
科目の種類	必修	授業形態	クラス単位の一斉授業		
履修対象者	全員				
1 学期	教科書の教材を中心に古典(古文・漢文)に親しみ、豊かな感性と読解力を身につける。				
	古文：物語・説話 …	平易な古文を読み、古文に親しむ。古典文法の基礎を学ぶ。			
	漢文：故事成語 …	平易な漢文を読み、漢文に親しむ。漢文訓読の基礎を学ぶ。			
2 学期	古文：随筆・物語 …	文学史上重要な作品を読み、古人の感覚・思想に触れる。			
	漢文：中国古代の史話 …	史伝を読み、古代中国の歴史・文化に触れる。			
3 学期	古文：物語・日記 …	文学史上重要な作品を読み、古文に対する親しみを深める。古典文法の知識を定着させ、読解力を高める。			
	漢文：唐代の詩文 …	唐代の作品を鑑賞し、詩や文の形式・表現について学ぶ。			
評価方法	定期考査を主とし、平常の活動、小テスト、長期休業中課題を加味して総合的に評価する。 ※通年の評価は現代文と合算し、「国語総合」(4単位)として行う。				
使用教科書	「高等学校 改訂版 国語総合」(第一学習社)				
使用教材	「国語便覧」・「古典文法」・プリント類				
諸経費	長期休業中課題 500円(予定)(積立金より支出)				
備考	長期休業中には課題あり。				

## 教科 [ 地理歴史 ]

講座名	地理 A	科目名	地理 A	単位数	2
科目の種類	共通履修	授業形態	クラス単位の一斉授業		
履修対象者	1 年次生				
	1 学期	4 月 地球儀や世界地図の活用 5 月 国家間の結びつき 6 月～7 月 自然環境と人々の暮らしの関係			
	2 学期	9 月 世界の諸地域の生活・文化と多様性 アジア 10 月 世界の諸地域の生活・文化と多様性 アフリカ、ヨーロッパ 11～12 月 世界の諸地域の生活・文化と多様性 アングロ・ラテンアメリカ、オセアニア			
	3 学期	1 月 地球的課題に関する地理的考察 2 月 自然災害の事例と取り組み 3 月 地域調査の方法			
評価方法	定期考査、小テスト、課題、発表、授業への取り組み、出席状況等を総合的に評価する。				
使用教科書	「基本地理 A」(二宮書店)、「新詳高等地図」(帝国書院)				
使用教材	資料集「フォトグラフィア地理図説」(とうほう)、プリント等				
諸経費					
備考					

## 教科 [ 数 学 ]

講座名	数学 I	科目名	数学 I	単位数	3
科目の種類	必修	授業形態	習熟度別授業		
履修対象者	全員				
	1 学期	*方程式と不等式 式の計算・実数・1 次不等式・集合と命題 *2 次関数 2 次関数とグラフ (関数とグラフ、2 次関数のグラフ)			
	2 学期	*2 次関数 2 次関数とグラフ (2 次関数のグラフ) 2 次関数の値の変化 (2 次関数の最大・最小、2 次関数の決定) 2 次不等式 (2 次関数のグラフと x 軸の位置関係、2 次不等式) *図形と計量 三角比 (三角比・三角比の相互関係)			
	3 学期	*図形と計量 三角比 (三角比の拡張)・正弦定理と余弦定理・三角形の面積 *データの分析			
評価方法	定期考査中心で、課題やノート等の提出状況も加味して評価する				
使用教科書	「改訂版 数学 I」(数研出版)				
使用教材	「改訂版 4 STEP 数学 I」(数研出版)				
諸経費	特になし				
備考					

## 教科 [ 理科 ]

講座名	生物基礎	科目名	生物基礎	単位数	2
科目の種類	必修	授業形態	クラス単位の一斉授業		
履修対象者	全員				
	1学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生物の多様性と共通性</li> <li>・ 細胞とエネルギー</li> <li>・ 細胞の多様性</li> </ul>			
	2学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遺伝現象と遺伝子、遺伝情報の複製と分配</li> <li>・ 遺伝情報とタンパク質の合成</li> <li>・ 体液とその働き、生体防御</li> </ul>			
	3学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体内環境の維持のしくみ</li> <li>・ 生物の多様性とバイオームの形成過程</li> <li>・ 生態系のバランスと保全</li> </ul>			
評価方法	定期考査を中心に、授業への参加意欲・授業態度・提出物などを総合的にみて評価する				
使用教科書	「高校生物基礎 新訂版」(実教出版)				
使用教材	アクセスノート生物基礎 改訂版、サイエンスビュー生物総合資料 三訂版(実教出版)				
諸経費	なし				
備考					

## 教科 [ 保健体育 ]

講座名	体育	科目名	体育 I	単位数	2
科目の種類	必修	授業形態	一斉授業		
履修対象者	全員				
	1学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 班を分けて男女別の一斉指導で行う。</li> <li>【学習内容】 男子 陸上・水泳・バレー 女子 ダンス・陸上・水泳</li> </ul>			
	2学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 班を分けて男女別の一斉指導で行う。</li> <li>【学習内容】 男子 陸上・バレー・水泳・柔道・持久走 女子 陸上・水泳・ダンス・バスケ・持久走</li> </ul>			
	3学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 班を分けて男女別の一斉指導で行う。</li> <li>【学習内容】 男子 柔道・持久走 女子 バスケ・持久走</li> </ul>			
評価方法	定期考査なし。出席状況を主とし、実技記録、活動点、筆記記録、実技テストなどを総合的に評価する。(見学は欠席と同じように減点される。)				
使用教科書	「最新高等保健体育 改訂版」(大修館書店)				
使用教材	副教材「ステップアップ 高校スポーツ」(大修館書店)、プリント等				
諸経費	特になし				
備考	出席時数・活動時数の足りない種目があると科目の修得ができない。 状況に応じて種目の学習時期が変更になることがある。				

講座名	保健	科目名	保健 I	単位数	1
科目の種類	必履修	授業形態	一斉授業		
履修対象者	全員				
	1 学期	<p>【目標】健康の考え方、生活習慣病、喫煙、飲酒、薬物などの誘惑から自分を守る方策を身に付ける。</p> <p>【学習内容】 「現代社会と健康について」を集団講義、ビデオ等で学習する。</p>			
	2 学期	<p>【目標】・健康の考え方、生活習慣病、喫煙、飲酒、薬物などの誘惑から自分を守る方策を身に付ける。 ・青年期から壮年期の健康管理が生涯を通してできるようにする。</p> <p>【学習内容】 「現代社会と健康について」「生涯に通じる健康」を集団講義、ビデオ等で学習する。</p>			
	3 学期	<p>【目標】・青年期から壮年期の健康管理が生涯を通してできるようにする。</p> <p>【学習内容】・「生涯に通じる健康」を集団講義、ビデオ等で学習する。</p>			
評価方法	定期考査 出席状況とノート・課題の提出状況を加味して総合的に評価する。				
使用教科書	「最新高等保健体育 改訂版」(大修館書店)				
使用教材	プリント他				
諸経費	なし				
備考	必履修科目 2 年次以降で代替科目はない。				

## 教科 [ 外国語 ]

講座名	コミュニケーション英語 I	科目名	コミュニケーション英語 I	単位数	3
科目の種類	必履修	授業形態	習熟度別 2 クラス 3 展開授業		
履修対象者	全員				
	1 学期	<p>4 月 動詞と名詞</p> <p>5 月 形容詞と副詞</p> <p>6 月 主語と述語動詞</p> <p>7 月 前置詞句</p>			
	2 学期	<p>9 月 フレーズリーディング</p> <p>10 月 フレーズリーディング</p> <p>11 月 代名詞と接続詞</p> <p>12 月 時を示す語句</p>			
	3 学期	<p>1 月 パラグラフ・リーディング</p> <p>2 月 パラグラフ・リーディング</p> <p>3 月 パラグラフ・リーディング</p>			
評価方法	定期考査を主とし、平常の活動、小テスト、課題等を加味して総合的に評価する。				
使用教科書	「Revised BIG DIPPER English Communication I」(数研出版)				
使用教材					
諸経費	なし				
備考					

講座名	英語表現 I	科目名	英語表現 I	単位数	2
科目の種類	共通履修	授業形態	習熟度別 1 クラス 2 展開授業		
履修対象者	全員				
	1 学期	4 月 主語と述語動詞 5 月 名詞の数 肯定文・否定文・疑問文 6 月 現在・過去 進行形 未来表現 7 月 現在完了・現在完了進行形			
	2 学期	9 月 助動詞 10 月 受け身 不定詞 11 月 不定詞 動名詞 12 月 分詞			
	3 学期	1 月 比較 2 月 関係詞 3 月 仮定法			
評価方法	定期考査を主とし、平常の活動、小テスト、課題等を加味して総合的に評価する。				
使用教科書	「MY WAY English Expression I New Edition」(三省堂)				
使用教材					
諸経費	なし				
備考					

## 教科 [ 家庭 ]

講座名	家庭基礎	科目名	家庭	単位数	2
科目の種類	必修	授業形態	少人数制授業		
履修対象者	全員				
	1 学期	4 月 人の一生とライフステージ 5 月 家族について 6 月 子どもの発達と保育 7 月 子どもを取り巻く環境 (夏休み/ホームプロジェクト)			
	2 学期	9 月 高齢期の生活 10 月 衣生活と自立 11 月 *被服製作 (エプロン) 12 月 *食生活と自立			
	3 学期	1 月 *調理実習 2 回 2 月 消費生活 (契約、消費者問題) 3 月 ライフスタイルと環境 (持続可能な社会)			
評価方法	・定期考査を行う (年 2 回) ・出席状況、授業への取り組み、課題の提出、夏休みのホームプロジェクトと定期考査の結果を総合的に評価する。				
使用教科書	「高等学校 家庭基礎 グローバル&サステナビリティ」(教育図書)				
使用教材	副教材、エプロン製作教材、調理実習材料				
諸経費	実習教材費 年間 2,500 円予定				
備考	ホームプロジェクトでは、家庭生活の課題に取り組み実践レポートを作成する				

## 教科 [ 情報 ]

講座名	社会と情報	科目名	社会と情報	単位数	2
科目の種類	必修	授業形態	クラス単位の一斉授業		
履修対象者	全員				
1 学期	4 月	情報機器を使いこなす コンピュータを活用するための基礎的な技能の習得(タッチメソッド等の習得)			
	5 月	情報を整理して伝える(1)・ネットワークの活用			
	6 月	情報の検索と収集・判断・表現・処理・編集する			
2 学期	7 月	文書作成・表計算ソフトの基礎			
	9 月	情報社会の課題について考える			
	10 月	表計算ソフトの応用・プレゼンテーションソフトの基礎			
	11 月	ネットワーク利用の心構え(情報の保護、セキュリティ、著作権、情報の信憑性など)			
3 学期	12 月	情報の統合的な処理とコンピュータの活用・情報機器の発達と生活の変化			
	1 月	情報を整理して伝える(2)			
	2 月	プレゼンテーションソフトの応用			
評価方法	3 月	Web ページの利用			
	実習テスト 出席状況、課題提出状況、平常活動等を加味して総合的に評価する。				
使用教科書	「高等学校 改訂版 社会と情報」(第一学習社)				
使用教材	ソフトウェア：ブラウザ、Microsoft Word・Excel・PowerPoint 他				
諸経費	なし				
備考					

## 教科 [ 産業社会と人間 ]

講座名	産業社会と人間	科目名	産業社会と人間	単位数	2
科目の種類	必修	授業形態	学年全体の一斉講義、グループ活動 クラス単位の T.T.による一斉授業		
履修対象者	全員				
【目標】	●「自己」、「自己と他者とのかかわり」、「自己と社会とのかかわり」、 「社会のしくみ」について考え、自分自身の在り方生き方を探求する。				
	●職業や勤労について考え、将来の職業を含めて自分自身の目標に向かって主体的に進路 選択を行う意欲と態度を身につける。				
	●2年生になるにあたって、より詳しく進路についての理解を深める。				
	1 学期	オリエンテーション、進路適性検査、職業・上級学校調べ、上級学校ガイダンス 履修ガイダンス、履修相談			
2 学期	職業人インタビュー、履修ガイダンス、履修相談、職業人インタビュー発表				
3 学期	キャリアデザイン作成				
評価方法	定期考査なし 出席状況、授業への取り組み、課題の提出等を総合的に評価する。 評価の観点 「積極性」「自己理解」「自己啓発」「自己実現」「振り返り」				
使用教科書	なし				
使用教材	「産業社会と人間 ワークシート」(校内作成)、「つばさハンドブック」(校内作成) 他				
諸経費	校外活動交通費(活動内容、行先により異なる)				
備考	体験的学習活動中心(講話聴講、実習、見学、調査研究、意見発表、討論)				

< 2 > 1年次選択科目（各自が選択して履修する科目）

①芸術選択科目（必履修）

各自が次の芸術科目のうちから1科目を選択する

教科 [ 芸術 ]

講座名	音楽 I	科目名	音楽 I	単位数	2
科目の種類	選択必履修	授業形態	科目選択者による一斉授業		
履修対象者	『芸術』4科目の中より自身で『音楽』を選択した者				
科目の内容	1学期	4月	発声、歌唱用練習曲、「校歌」		
		5月	実技テスト「校歌」、イタリア歌曲、ドイツ・リート		
		6月	実技テスト(歌唱)、アルトリコーダー（各自持参）		
		7月	実技テスト(器楽)、ギター		
	2学期	9月	歌唱(斉唱、合唱)、アルトリコーダー、ギター、キーボード		
		10月～11月	歌唱(斉唱、合唱)、指定された楽曲について少人数によるグループ合奏		
		12月	実技テスト		
	3学期	1月～2月	歌唱(合唱)、オリジナリティに溢れた少人数によるグループ合奏		
		3月	実技テスト		
評価方法	実技試験を中心とする。1学期（3回）、2学期（1回）、3学期（1回）の実技試験を実施する。聴衆を前にした発表（試験）あり。授業態度、出欠状況も加味し、総合的に評価する。				
使用教科書	「音楽 I 改訂版 Tutti」（教育出版）				
使用教材	アルトリコーダー（各自持参）、配布プリント・楽譜、学校所有の楽器				
諸経費	アルトリコーダーを持っていない者は、購入の必要あり。3,000円程度（各自で購入）				
備考	初回授業時にアルトリコーダーを持参すること。バロック式でもジャーマン式でのどちらでも良い。中学校で使用していた楽器で構わない。新規に購入する場合は、3,000円程度必要です。学校での共同購入はしないので、各自楽器店等で購入すること。				

講座名	美術 I	科目名	美術 I	単位数	2
科目の種類	選択必履修	授業形態	科目選択者による一斉授業		
履修対象者	『芸術』4科目の中より、自身で『美術』を選択した者				
科目の内容	1学期	4月	デザイン『レタリング』制作		
		5月	絵画『味覚』制作		
		6月～7月	デザイン『オリジナル標識』制作		
	2学期	9月～12月 デザイン『ポスター』制作			
	3学期	1月～3月 映像メディア『アニメーション』制作			
評価方法	学期ごとの提出課題を主とし、プリント点等を加味して総合的に評価する。				
使用教科書	「高校生の美術1」（日本文教出版）				
使用教材	アクリルガッシュセット、配布プリント、画用紙等				
諸経費	上記画材費用として5,000円（積立金より支出）				
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集中して制作に打ち込み、必ず作品を完成させる必要があります。</li> <li>・課題内容は都合により変更することがあります。</li> </ul>				

講座名	工芸 I	科目名	工芸 I	単位数	2
科目の種類	選択必修	授業形態	科目選択者による一斉授業		
履修対象者					
	1 学期	① 堆朱アクセサリー ② 貼り子 立体制作の基礎制作工程と様々な工具の使い方を学ぶ			
	2 学期	キャラクターデザイン 応用として、イメージを総合的に立体で表現する			
	3 学期	キャラクターデザインのプレゼンテーションとそれに向けて 年間のまとめをする			
評価方法	出席状況、準備と片付け、作業工程の理解、工具の使い方などで総合的に評価				
使用教科書	「工芸 I」(日本文教出版)				
使用教材					
諸経費	3,000～4,000 円 (積立金より支出)				
備考					

講座名	書道 I	科目名	書道 I	単位数	2
科目の種類	選択必修	授業形態	科目選択者による一斉授業		
履修対象者	『芸術』4科目の中より、自身で『書道』を選択した者				
	1 学期	4 月～ 5 月 基本的な筆づかいを学ぶ。 6 月～ 7 月 漢字の書の創作をする。			
	2 学期	9 月～10 月 古典を手本としてさまざまな表現のしかたを学ぶ。 1 1 月 刻字(板に文字を彫ること)の作品を制作する。 1 2 月 漢字と仮名の調和のさせ方を学ぶ。			
	3 学期	1 月 文字の配置のしかたを学ぶ。 2 月～ 3 月 漢字仮名交じりの書の創作をする。			
評価方法	定期考査については未定。 出席状況や提出作品の制作過程、完成度などを元に総合的に評価する。				
使用教科書	「書 I」(光村図書)				
使用教材	半紙、墨液、太筆、細筆、板				
諸経費	5,000 円 (積立金より支出)				
備考	① 太筆・細筆は生徒自身が用意する。 ② 半紙・墨液は積立金でまとめて購入する。 ③ 授業で制作した作品を文化祭で展示する。				



## ②自由選択科目

各自が次の6術科目のうちから1科目を選択する

## 教科 [ 数 学 ]

講座名	数学A	科目名	数学A	単位数	2
科目の種類	自由選択	授業形態	一斉授業		
履修対象者	医歯薬看護及び理工系への進学を考えている人				
	1学期	＊場合の数と確率 集合の要素の個数 場合の数（和の法則・積の法則、順列、組合せ） ＊確率（事象と確率、確率とその基本性質）			
	2学期	＊確率（独立な試行と確率、反復試行の確率、複雑な試行の確率、条件付き確率） ＊図形の性質 平面図形 空間図形			
	3学期	＊整数の性質 約数と倍数 ユークリッドの互除法 整数の性質の活用			
評価方法	定期考査中心で、課題やノート等の提出状況も加味して評価する				
使用教科書	「改訂版 数学A」（数研出版）				
使用教材	「改訂版 4STEP 数学A」（数研出版）				
諸経費					
備考					

## 教科 [ 保健体育 ]

講座名	スポーツ専攻初級	科目名	スポーツ専攻初級	単位数	2
科目の種類	自由選択	授業形態	科目選択者による一斉授業		
履修対象者	全員				
	1学期	<b>【目標】</b> ・種目を選択し、より高度な技能の習得を図る。 ・練習計画が徐々に立てられるようにする。 ・スポーツ大会等の行事の計画立案ができるようにする。 <b>【学習内容】</b> 2～3種目の中から1種目を選び学習する。			
	2学期	<b>【目標】</b> ・1学期に選択した種目をより深く学習し、技能の向上を図る。 ・10月より新たな種目を選択し、より高度な技能の習得を図る。 ・練習計画が立てられるようにする。 ・スポーツ大会等の行事の計画立案ができるようにする。 <b>【学習内容】</b> 1学期に選択した種目を学習する。 10月より2～3種目から1種目選び、学習する。			
	3学期	<b>【目標】</b> ・2学期10月より選択した種目をより深く学習し、技能の向上を図る。 ・練習計画が立てられるようにし実践に備える。 <b>【学習内容】</b> ・2学期10月より選択した種目を継続して学習する。			
評価方法	定期考査なし 出席状況、技能の向上、記録、種目への取り組みなどを総合的に評価する。				
使用教科書	なし				
使用教材	副教材「ステップアップ 高校スポーツ」（大修館書店）				
諸経費	なし				
備考	なし				

## 教科 [ 美術 ]

講座名	絵画初級	科目名	絵画	単位数	2
科目の種類	自由選択	授業形態	科目選択者による一斉授業		
履修対象者	美術系大学・美術系専門学校希望者対象。油絵を描くことに強い意欲のある者も受講可能。2年次に「絵画A」の受講を希望する者は、必ず履修すること。				
	1学期	4～7月 静物画（一つの物を描く） 基本的な油絵具の使い方を学習しながら、描き方の基礎を学ぶ。			
	2学期	9～12月 静物画（複数の物を描く） 基礎を活かしながら、独自の表現を追求していく。			
	3学期	1～3月 人物画（モデルを描く） 人物を描くことを通して、表現の幅をさらに広げていく。			
評価方法	完成作品の評価に、制作過程、出席率、レポート等の評価を加えて行う。				
使用教科書	なし				
使用教材	油絵道具セット、 F10～12号キャンバス				
諸経費	上記教材費として 15,000円程度。既に持っている生徒は油絵道具セットを、新たに購入する必要はありませんので相談ください。				
備考	なくなった絵の具や油などは各自で買い足す必要があります。エプロン、つなぎ、ジャージなど汚れても良い服装が必要です。 課題内容は都合により変更することがあります。				

講座名	デザイン初級	科目名	構成	単位数	2
科目の種類	自由選択	授業形態	科目選択者による一斉授業		
履修対象者	全員				
	1学期	① 形態描写 ② レタリング デザインの基礎を学び、用具の取り扱いや色彩表現の基礎を身に付け、ものの見方や捉え方を学ぶ。			
	2学期	平面構成			
	3学期	立体構成かレンダリング			
評価方法	完成作品の評価に、制作過程、出席状況、レポート等の評価を加えて行う				
使用教科書	なし				
使用教材	アクリルガッシュセット				
諸経費	上記教材費として 5,000円程度。「美術I」でアクリルガッシュセットを既に持っている生徒は、新たに購入する必要はありませんので相談ください。				
備考	なくなった絵の具等は各自で買い足す必要があります。課題によりエプロン、ジャージ等の汚れても良い服装が必要です。※課題内容は都合により若干変更される場合があります。				

## 教科 [ 福 祉 ]

講座名	社会福祉基礎 X		科目名	社会福祉基礎	単位数	2
科目の種類	自由選択		授業形態	一斉授業		
履修対象者	社会福祉に関わる基礎的なことについて科目を選択したい人					
	1 学期	4・5月 福祉の職業		5月 現代社会と社会福祉		
		6月 社会福祉の理念と意義		7月 社会福祉の歩み		
	2 学期	9月 社会福祉の歩み		10月 福祉分野の現状と課題		
	11・12月 障がい者・高齢者理解					
	3 学期	1月 障がい者・高齢者理解		2・3月 社会福祉の担い手と福祉社会への展望		
評価方法	定期考査（年1回 中間考査あり 年3回 期末考査あり） 出席状況・授業への取り組み（1割）、課題の提出（2割）定期考査・検定（7割）などを総合的に評価する。					
使用教科書	「社会福祉基礎」（実教出版）					
使用教材	社会福祉基礎学習ノート(実教出版)					
諸経費	5,000 円程度					
備考	<p>将来の進路に保育や福祉を考えている生徒。2・3学年で保育や福祉に関わる科目を選択したい生徒はそれぞれの基礎科目となる。1学年の「社会福祉基礎 X」と、2・3学年合同授業の「社会福祉基礎 Y」は同一内容で実施する。授業内で、手話や点字の基礎を学習し、手話検定5級の取得を目指す。</p> <p>特に2学年で「生活支援技術 A」を選択する予定の生徒は、移動支援の学習を行うため、1学年または2学年で「社会福祉基礎 X または Y」を選択し、社会福祉に関わる基礎を学習することが望ましい。また、<u>医療・看護系の進路希望者で福祉にも関心がある生徒は、1学年で「数学 A」を優先し、2・3学年のいずれかで「社会福祉基礎 Y」を選択するとよい。</u></p>					

## 教科 [ 工 業 ]

講座名	工業技術基礎 X		科目名	工業技術基礎	単位数	2
科目の種類	自由選択		授業形態	科目選択者による一斉授業 (1講座15名以内)・TT 授業		
履修対象者	工業関係（機械・電気）に関心のある者					
	1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械製図の基礎と CAD の初歩</li> <li>・電気実験および計測実習</li> </ul>				
	2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工作機械実習：ボルトとナットの製作</li> <li>・電子回路の工作と製作実習</li> <li>・機械製図の基礎と CAD の初歩</li> <li>・電気実験および計測実習</li> </ul>				
	3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工作機械実習：ボルトとナットの製作</li> <li>・電気工事实習</li> </ul>				
評価方法	定期考査なし 製作した作品や報告書および平常の授業態度を総合的に判断し評価する。					
使用教科書	「工業技術基礎」（実教出版）、独自テキスト					
使用教材	独自テキスト					
諸経費	作業服の購入を推奨					